

令和3年度 地域貢献活動支援補助金(市民団体) 審査申請団体一覧

	団体名	事業名	事業概要・目的
1	「時空を超えて～58年前の絵との対話」 実行委員会	「時空を超えて～58年前の絵との対話」	58年の眠りから覚めた児童画約80点の展覧会を地元地域・学校で開催することにより、現代の子供たちに当時の子供たちの絵に向かうエネルギーを感じてもらおうとともに、当時の生業や地域環境を学んでもらう。また、絵の作者とのコミュニケーションを通じて世代間交流を促進する。 地域にとっては、地温故知新、当時の生業や風景から現代に必要なことに気づき、地域活性化のヒントとなる。
2	サトヤマWORKS	里山トレイルランニング事業	KYOTOSKYでトレイルランニングジュニアの世界チャンピオン近江竜之介選手とその指導者近江監督を福井に呼んで、越前市の里山を使用してトレイルランニングセミナーを実施。 2021年に陸連登録協議となったトレイルランニングを越前市の里山を活用し普及。陸連登録となりますます発展を感じるトレイルランニング。パイオニアとしてトレイルランニングアドバイザーの経験を活かして競技の発展と里山の活用、健康増進、地域の魅力の再発見などを図る。

令和3年度 地域貢献活動支援補助金(学生団体) 審査申請団体一覧

	学校名	団体名	事業名(事業費・補助申請額)	事業概要(内容・目的)
1	仁愛大学佐藤ゼミ	仁愛大学 健康栄養学科 調理ゼミ	災害に備える「ローリングストック」を広めよう	災害などに備える「ローリングストック」の考えに基づき、ローリングするための具体的な方法・情報を提供し、日常生活で実施・活用してもらうことを目的とする。 昨年度作成した「ローリングストック」を理解するための動画を利用しながら、ローリングストックの活用法などをオンライン講座や動画などで広める。
2	福井高専	えちぜんメダカに見つめられ隊	越前市内の児童館におけるメダカ教室の開催とメダカの配布	越前市内の児童館においてメダカ教室を通して児童の情操教育と環境教育を行う。 NPO団体である武生めだか連絡会と連携し、越前市内の児童館において出張メダカ教室を開催し、地元固有種の2種類のメダカおよびメダカ缶バッジ配布を通して児童の「メダカを見つめメダカに見つめ返される」機会を提供し、情操教育と環境教育を行う。
3	武生東高等学校	福井県立武生東高等学校 第2学年	Hino・Quest Happy Project 2021 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践② 実践プラン その2「越前市の隠れた魅力がガチャガチャで！！」	市外の観光客や交流関係者はもちろん、越前市民に越前市の魅力を知ってもらう方策を考えた。越前市には様々な名所があるが、それらは案外越前市民には知られていないのではないかと。そこで知られている名所・名店はもちろん越前市の隠れた名所や隠れた名店を、観光客はさらには越前市民にも楽しんで知ってもらうことを目的に、隠れた名店や名所のミニパンフと割引券または小さなグッズを入れたカプセルの入ったガチャガチャを設置する。
4	武生東高等学校	福井県立武生東高等学校 第3学年	Hino・Quest Happy Project 2021 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践② 実践プラン その3「Break out the gender barrier!」	多様な都市、カラフルな都市の実現に向けて、LGBTQに対する意識向上のためのアクションを起こしたい。 LGBTQの理解には学校教育が有効である。今回、小中高生に向けたノベルティとチラシを配布することによって、各校におけるLGBTQに対する理解や人権教育の一助としたい。
5	武生工業高等学校	福井県立武生工業高等学校 電気科	プログラミング教室	プログラミング教室を通して、小学生のプログラミング的思考の促進を図るとともに、高校生の他者へ説明する能力を向上させる。 越前市内の小学生を対象としたプログラミング教室を開講する。教室ではマイクロビットというマイコンボードを使用し、本体に内蔵されているLEDの光り方を制御するといった基本的なプログラムから、ミニゲームの製作やクローラータイプのロボットを制御するといった発展的な内容まで行う。教室の実施回数は年間3回を予定している。
6	武生工業高等学校	福井県立武生工業高等学校 都市工学部	「ブラタケフ」 ～パワースポット片山龍神山ツアー～	越前市は古より国府が置かれ、越前市の中心地として栄えた歴史ある町である。古くは継体天皇などの言い伝えなどもあり、さらに神話の時代までさかのぼっても多くの魅力を持っている。そこで、越前市西部の片山龍神山に焦点を当て、パワースポットとして多くの方々を知っていただき、越前市の魅力を再発見することを目的とする。 また、土木系の生徒の目線で越前市内の名所めぐりも企画する。

令和3年度 地域貢献活動支援補助金(学生団体) 審査申請団体一覧

	学校名	団体名	事業名(事業費・補助申請額)	事業概要(内容・目的)
7	仁愛大学 吉村ゼミ	仁愛大学吉村ゼミ「チームK」	アレルギー対応店を紹介するガイドの制作	越前市を中心にアレルギー対応店を紹介することで、それに悩む家庭の助けとなることを第1の目的とし、加えて安心して子育てができる越前市をPRする。 越前市およびその近郊のアレルギーに悩む家庭を対象として、アレルギー対応店のガイドを制作する。形態は紹介する店数に応じてリーフレットまたは冊子とする。 エリアは越前市を中心として鯖江・南越前町も含める予定(それらの市町から越前市への来訪も期待できるため)。完成したガイドは協力してもらった店舗のほか、越前市内外の子どもが集うスペースに配布する。
8	仁愛大学 吉村ゼミ	仁愛大学吉村ゼミ「チームT」	誰かの欲しいものを「あげる」、誰かの手放したいものを「もらう」イベントの開催	子育て世代をターゲットとして、越前市中央公園で屋台出店を行い、まず、「手放したいもの」を回収。「手放したいもの」を「欲しいもの」として配布。その際に、この活動がSDGsにつながっている事を紹介する。
9	仁愛大学江南ゼミ	仁愛大学 江南ゼミ	「もっと優しい避難」をともに創る —障がいのある人たちとともに—	近年、災害が多く発生しており、県内でも指定避難経路の設定やハザードマップの作成が進んでいる。しかし、それらは災害に合う人々を一般的に広く設定されているため、障害を持つ人々にとって実施困難な方法・対策である可能性がある。 市内で心身に障害を持つ個人や団体とともに、避難の在り方を検討し、「もっと優しい」避難の在り方を発信するとともに、防災マップを作成する。
10	仁愛大学安彦ゼミ	仁愛大学 安彦ゼミ 丹南ともみ応援隊	丹南ともみの地域感謝花火プロジェクト	当プロジェクトでは、丹南ともみプロジェクトの一環として花火を打ち上げ、その様子を生配信する企画を考案。密を避けるため広報は限定的な情報のみとし、花火の生配信により多くの人に見てもらうことを可能とする。また、見逃した人も後で見れるようアーカイブを残し、コロナ禍で外出を自粛している市民への感謝と応援の気持ちを伝える。
11	仁愛大学安彦ゼミ	仁愛大学 安彦ゼミ 多国籍推進隊	火事ゼロ！防火プロジェクト	越前市内の外国人が年々増加している。 消防組合の方から火災を引き起こす外国人が増加しているため 連携して活動したいという要望を受けた。火災を起こしてしまった際に、日本ではどのような行動を取れば良いのか(初期消火の方法や、消防署への通報等)わからないままでは、外国人自身も不安が拡大しつつあると考え、初期消火に関する動画や説明書をポルトガル語で作成する。